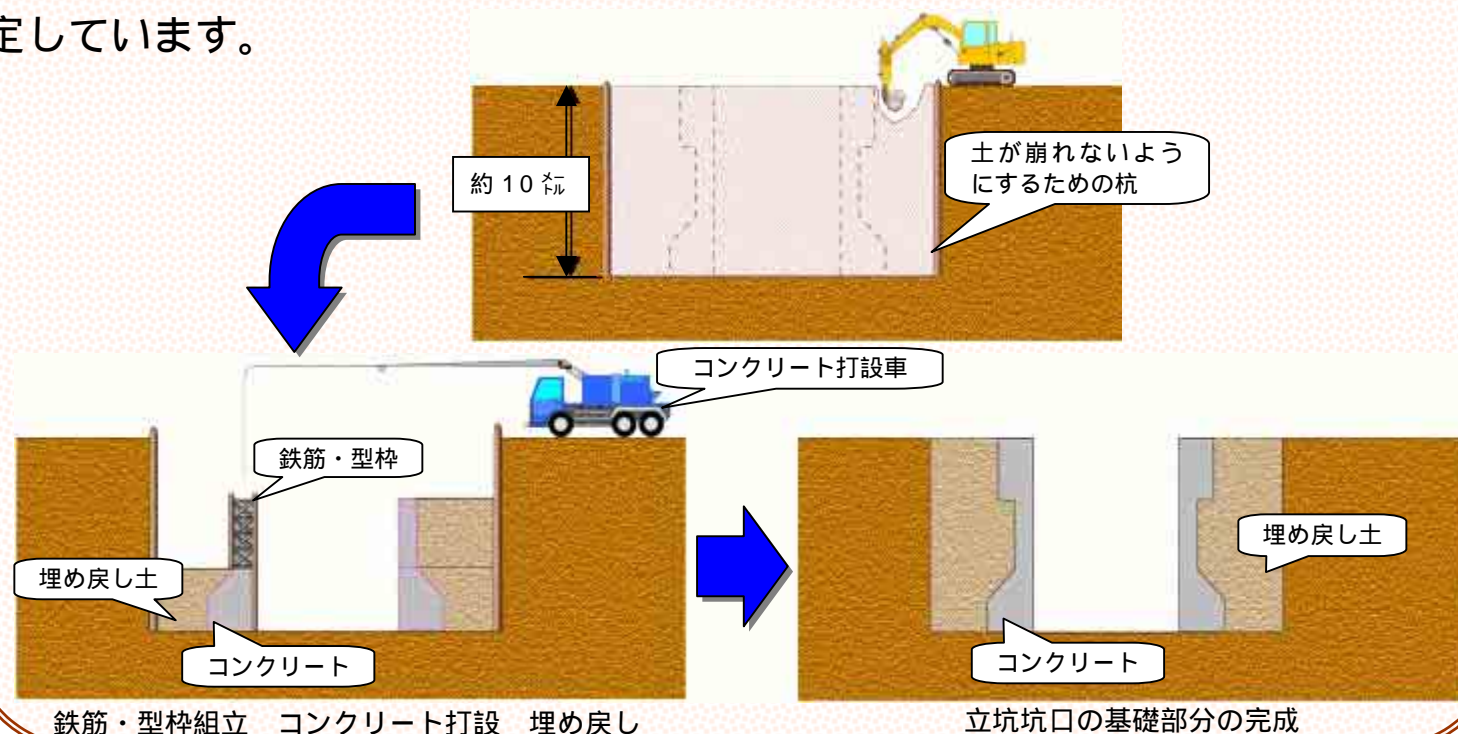


スポット ニュース

主立坑と換気立坑の坑口部分の基礎工事

瑞浪超深地層研究所では、7月中頃から主立坑（直径約 6.5 ㍍）と換気立坑（直径約 4.5 ㍍）の 2 本の立坑の坑口部分の基礎工事を開始します。

坑口の基礎工事では、まず地表から約 10 ㍍までを重機で掘ります。その後掘った穴に鉄筋と型枠を組み立て、コンクリートを流し込みます。コンクリートが固まった後に型枠を外し、外側部分を掘削した土で埋め戻します。これで坑口部分の基礎が出来上がります。なお、工事期間は平成 16 年 3 月までを予定しています。



文化・歴史・自然を楽しむ in 東濃

はくさん
【白山神社のハナノキ】(国指定天然記念物)
所在地：土岐市泉中窯町 1-3

このハナノキは、古い時代に繁栄していた生き残り、生きた化石ともいわれています。ハナノキは、化石が北半球の各地で出土することから、かつては北半球の広い地域に分布していたと考えられています。日本では現在、岐阜県東濃地方を中心とした地域に分布しています。環境の変化と植物の歴史を物語る貴重な植物です。



白山神社のハナノキ

用語あれこれ

【ムーンストーンとは?】
6月の誕生石でもあるムーンストーンは、月長石（げっしょうせき）とも呼ばれている鉱物で、カリウムやアルミニウムを含んでいる鉱物（正長石）およびアルミニウムやナトリウム・珪素などの酸化物を主成分とする鉱物（曹長石）の二種類の長石が交互に層をなしている鉱物です。色は、無色、白色、ピンク色、橙色、黄色、緑色、褐色そして灰色があります。

瑞浪国際地科学交流館のご案内 - 「瑞光会小品展」 -

瑞浪国際地科学交流館の 1 階にあるミニギャラリーと食堂が、7月1日からご利用いただけます。ミニギャラリーにおいては、7月1日から8月15日まで「瑞光会小品展」(洋画の展示)が開催される予定です。是非一度、瑞浪国際地科学交流館まで足をお運びください。



瑞浪国際地科学交流館

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

- 深いボーリング孔の掘削作業及び調査（6月23日現在）
（MIZ-1号孔：掘削長 173 ㍍まで掘りました）
- 浅い 4 本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- 狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- 立坑掘削工事請負事業者用の仮設現場事務所の設置 等

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご質問または、瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木^{かやぶき}、茅吹、福島）

来月の主な作業予定(7月)

【瑞浪超深地層研究所】

- 深いボーリング孔の掘削作業及び調査（MIZ-1号孔）
- 浅い 4 本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- 狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- 主立坑（直径約 6.5 ㍍）と換気立坑（直径約 4.5 ㍍）の坑口部分の基礎工事

【正馬様用地】

- 既存のボーリング孔での水圧などの長期観測